

## STE (Shiroi Teaching Expert) の授業紹介 No. 8



### 白井市立桜台小学校 齊藤 のり子 先生 (算数科)

11月17日(水)、1年生の算数科の授業でした。引き算の「 $14-8$ 」の計算の仕方を皆で考えました。線り下がりのある引き算は1年生にとって難しく、つまずく児童が多い単元です。印教研の提案で他校が発表したことや、学校支援アドバイザーの田中先生から指導されたことを積極的に取り入れ、授業改善をしていました。

また、1年生は義務教育の初めの年です。その基礎となる「学ぶ姿勢」を大事にした指導をしていました。

#### 工夫1 学ぶ環境を整える。

前回御紹介した南山小学校の竹内先生同様、児童の机上がとてもすっきりしていました。必要な筆記用具(筆箱は机の中)、ブロック、ブロックのケース、ノートを皆が定位置に置いていて、学習に集中できるようにしていました。

また、話を聞く時はやっていることを止めて姿勢を正し、視線を話している人に向けて聞く。これから先学習していく1年生にとって、とても大切なことがしっかり身に付くよう指導していました。



#### 工夫2 自力解決の時間をいつ切り上げるか。

様々な活動場面でタイマーを使って指導している先生も多いと思います。それはあくまでも目安。齊藤先生は、児童の様子を自分の目でしっかり把握し、自力解決時につまずいている児童の思考が行き詰まっている時に、タイマーに頼らずすぐに切り上げ、教え合いの時間に切り替えていました。コロナの影響でなかなかペア学習ができなかったそうですが、今は隣同士で教え合いが成立するような座席配置を考え、何回も繰り返し説明する時間を確保していました。その際、説明する側は相手に伝わるよう言葉を選んで説明、聞いている側は友達が教えてくれたことを自分でブロックを動かして考えながら聞く、という学び合いを行っていました。1時間の中で10回以上自分の考えを説明する場がありました。



#### 工夫3 すべての学びを「めざす姿」につなげる学級経営・学年経営

1年生2クラスの学年目標は「なかよし にっこ」です。「皆で作ったマークのとおりクラスを、皆でつくる」ということを日々意識する指導をしています。学習でも2つのマークを使って、自分の思いを表現していました。皆が分かるように一生懸命説明し、聞いていて伝わったら「にっこ」マークを高々と上げて、称賛していました。



#### ★齊藤先生が大切にしていること★

- ・集中できる環境を整え、皆で学ぶ姿勢を作ること。
- ・友達同士の関わり合いの中で、クラスの合言葉を大切にするためのしかけを作ること。(はじめは「困ったマーク」だった児童が、最後は「にっこ」マークに変わり、前で発表までして、とても嬉しそうでした！)